

平成28年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 日本文化論 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問題一は、日本古典文学・文化研究に関わる分野から、その文学史・文化史的、あるいは、文献学・国語史的問題に関する理解と知識を質すとともに、文章読解能力および論述能力をもあわせみるものである。</p> <p>問題二は、日本古典文学研究の根幹となる作品読解能力を問うものである。また、原資料を取り扱う能力をみるために変体仮名の翻字も課す。</p>

平成28年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 日本文化論 全3枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 3枚、解答用紙 2枚を配付する。
問題は二題あり、解答は問題一・二についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。

問題一

次の文章は今野真二『日本語の考古学』の一節である。読んで設問に答えよ。なお設問の都合により、本文を改めた箇所がある。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 （今野真二『日本語の考古学』岩波書店・2014年4月、235頁～238頁）

問一 「漢文」系の古活字版テキストはどのような性格をもつと考えられるか、説明せよ。

問二 この文章の内容を踏まえ、各自の関心あるテーマについて、自由に論述せよ。

